

はカジュアルなため今、着ることはほぼない。着物という和高価なイメージがあるかもしれないが、今はリサイクルショップでもうまく探せば良いのが見つかる。そういえば義母からいただいたのもあったな…今回はそれを着ようかな…とはいえ、雨が降ると着れない（着たくない）やっぱりジャケットを新調しなければ（泣）食べながら考えているとアツという間に休日が終わった。【今回のコラムニスト 齊藤 さゆり】

4 Made in [en] 情報局

Made in [en]

それは、生活介護事業所[en]の創作活動内で作られる「モノ」を様々な形で発信するプロジェクト。そんなMade in [en]の製品紹介や最新のニュースをピックアップしてお届けするMade in [en]情報局。あなたの心にヒットする商品が必ずあるはず！！

1. インスピレーションが爆発するアートワークショップに参加



11月13日に四国中央市の「太陽の家」で、アートワークショップが開催されました。大きな紙を使い、自由に描いてもらうというもので、その時のメンバーとインスピレーションでペイントするため同じものがない一期一会で唯一無二なアートを作る機会を頂きました。カラフルな絵の具を筆やスポンジ、最後は手や足を使って描き、はじめはどうしようかと手が止まっていた利用者もしばらくすると型にはまらない自由な発想でドンドン進めていってました。他の人がどのように描いているのかを見て真似てみたり、自分なりの描き方を発見する人もいたり人それぞれの発想や表現の仕方があることを改めて実感することができました。今回、このような機会を頂いた光と風の大西さん、MIDORIYAの和泉さん、太陽の家のみなさん、ありがとうございました。

5 これからの[en]について

1月 11・13・18日 28日	休日開所 大人の宴	2月 8日 24日	純喫茶エンドレス 祝日開所	3月 8・20日 21日	休日開所 消防訓練
---------------------	--------------	--------------	------------------	-----------------	--------------

[en]では、記事の内容以外にもいろんな活動をしています。見学や利用をお待ちしております。



社会福祉法人わかば会 生活介護事業所 [en] - エン -

〒792-0815 愛媛県新居浜市岸の上町1-14-37 TEL:0897-47-6606

HP: <http://shahuku-wakabakai.jp>



[en] de Greeting

発行日：令和7年 1月15日
発行元：生活介護事業所 [en]
発行責任者：武井 淳

e-news

イー・ニュース

令和7年 第11号

[en]での日常の様子をお届けする
e-news

わかば会でInstagramはじめました！！



WAKABAKAI1997

TOPICS

1. 「やってみよう」のあれこれ
2. enja:9 Photo Award
3. [en]のコラムニストから
4. Made in [en]情報局
5. これからの[en]について

1 「やってみよう」のあれこれ

太鼓祭りを見に行きました。

I ♥ NIHHAMA
太鼓祭り



今年は、[en]の地元の太鼓台や高齢者施設の宝集会の方から声をかけて頂き、近くまで行って太鼓台に触れる機会を頂き利用者のみなさんも楽しんでくれていました。まじかで見ると太鼓台、大きく迫力のある音で聞く太鼓の音色、一年に一回のお祭りですので楽しんで頂けて良かったです。



開所5周年感謝祭 「伍 縁」 Vol.1



開所5周年を記念して利用者の方にお届けする感謝祭として「伍縁 Go-en」を開催しました。プログラムは全てエンターテイメントショー。利用者の方も職員もみんなで参加するイベントとなりました。歌あり、マジックあり、演劇ありと様々なジャンルから作られる熱気はすごく、事業所が一体となることのできた良いイベントになりました。食事はメイン料理5カ国、スイーツ1カ国の郷土料理を入れて、いろんな国の味が食べられるスペシャルメニューを提供。また、イベント終了時には利用者みなさんに感謝セットとして[e n]にちなんだお菓子の詰め合わせとオリジナルタオルをプレゼントしました。こうして今の[e n]があるのもみなさんのおかげです。これからもどうぞよろしくお願い致します。(Vol.2に続く)



[e n]を利用している方の日常のいろんな活動から特ダネをピックアップしてお届けするSCOOOP!!
今回、あなたが目にする特ダネは？



10月11日に[e n]で緊張感の漂うなか、水害の災害に向けての避難訓練を実施していた。その模様を今回はSCOOOP!! [e n]は国領川の近くになるため、洪水浸水レベルが0.5m未満となっている。そのため一年に一回は水害想定での訓練を行い、避難に必要な注意点や避難場所まで歩いて実際に確認に行っているとのこと。災害がないのが一番だが、もしもの時の備えを行う緊張感はいまだに[e n]の姿だった。



開所5周年感謝祭 「伍 縁」 Vol.2



2 enja;9 Photo Award - エンじゃないん フォト アワード -

生活介護事業所[e n]で生まれる数々のフォトグラフ…そこにはその場で感じたFeel
そしてあの時の香りがよみがえるMemory…そんなフォトグラフを毎月選び、お届けするEnja;9 Photo Award
さあ、今日のあなたは何を感じる？



10月



11月



12月

3 [e n]のコラムニストから

「そういえばもうすぐ次男の卒入式やなあ…私の服、どうしようかなあ…」年末年始2キロも太りながら未だ食べ続けている私はぼんやり考えていた。「そうだ、また着物を着たらいいか！」私は洋服が好きだが昔から着物も好きだ。独身の頃、着付けを2年ほど習っており、なにかある度に着物を着ていたが、結婚して子どもが生まれメッキリ機会がなくなった。そしたら着付けも忘れてしまった。(とても悔やまれるのでまたいつか習いたい。)結婚する時に渋い訪問着を買ってもらい、今まで何度か着た。昔、着ていた小紋など